

奈良市 アクティブステージ研修 令和2年1月6日(月)帝塚山大学 18号館
後援 帝塚山大学

講演 「VTRを活用して10の姿を学ぶ」講師 帝塚山大学 教授 清水 益治氏

- * 5~6名のグループに分かれて座る。
- * VTR「幼児教育から小学校教育へ 1ねんせいになるってことは」(幼児教育映像制作委員会)を視聴し、10の姿に結び付けられる場面や行動を取り上げる。それをどの様に要録に記載すれば、小学校に正確に引き継ぐことができるかを考える。



①VTR「ままごと遊び」を視聴 清水先生の記録例から記入方法を学ぶ

「ままごとあそび」

主な内容・・・色々な素材を使って制作したお料理で、ままごと遊びをしている。その中で、炊き立てのご飯を作るにはどうしたらいいのかを考え工夫している様子。

記録用紙 記入例

場面	行動	10の姿	備考
ままごと遊びの中で、お茶碗に盛り付ける炊き立ての白いご飯を作る場面	友達と話し合い、試行錯誤しながら工夫して、ティッシュペーパーでふんわり、ふかふかした感じのご飯を作り上げる	自立心、協同性、思考力の芽生え、豊かな感性と表現	工夫して作り上げる: 自立心 試行錯誤しながら: 思考力~ 友達と話し合い: 協同性 ふんわり、ふかふか: 豊かな~

記述の例

ままごと遊びの中でお茶碗に盛り付ける炊きたての白いご飯を作る場面では、友達と話し合い、試行錯誤しながら、工夫して、ティッシュペーパーでふんわり、ふかふかした感じのご飯を作り上げた。[自立心、協同性、思考力の芽生え、豊かな感性と表現]

- ・10の姿を指針や要領で確認しながら記入する。
- ・場面と行動を結びつけることで、10の姿がわかりやすくなる。
- ・何を伝えたら、小学校で役立つかを考えて記入する。



②VTRの中の3つのチャプターを視聴して、気づいたところを記録用紙に書く。(個人作業)

チャプター1 「音楽会の楽器決め」を視聴

主な内容・・・クラスで楽器演奏をすることになり、誰がどの楽器にするかを決めることになった。うまく決まった楽器もあったが、1つの楽器にやりたい子どもが数名いたため、どの様にして決めるかを話し合う。子ども達の中から「オーディションをして決める」という意見が出て、皆の前で演奏し拍手の多い順で決定するまでの様子。

チャプター2 「長靴～小鳥の家づくり」を視聴

主な内容……晴れた日に長靴を履いてきてしまった主人公に対し、先生や友達が「大丈夫だよ」と優しく関わる姿。
主人公と仲良し仲間と、小鳥を制作する。完成した小鳥で遊ぶうちに「小鳥の家」を作ることになり、色々話し合いながら工夫して、長い期間をかけ家を完成させるまでの様子。

チャプター3 「小学校の見学」を視聴

主な内容……小学校へ行って、小学校での生活を体験する。小学生に授業や持ち物について教えてもらった後、園に戻ってからランドセルを制作し、進学に向けての期待を膨らませていく様子。



③それぞれが書いたものを各グループで共有(グループ作業)

それぞれが記録した場面や 10 の姿について、グループ内で共有し、その中から発表する場面を1つ選ぶ。

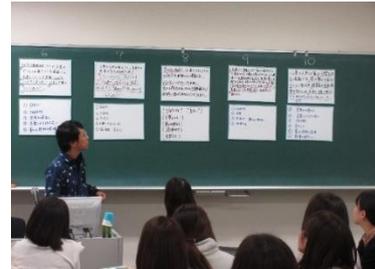


④再びVTRを視聴

再度VTRを視聴して、グループで発表する1場面を皆で確認する。
グループで選んだ場面について記録用紙に記入する。



⑤ホワイトボードにグループの意見を記入・順番に発表



各グループの記述まとめ

場面	行動	10の姿
	<p>音楽会に向けての<u>楽器遊びの場面</u>で、<u>友達や周りの様子を見ながら状況に応じて</u>、音楽を流したり、<u>楽器を試したりして楽しんだ</u>。 <u>自ら楽器を選び、意欲的に取り組んだ</u>。</p>	<p>協同性 道徳性・規範意識の芽生え 思考力の芽生え 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 自立心</p>
	<p><u>友達と一緒に様々な素材を使って</u>、小鳥の家を作った。 <u>自らの思いを伝えたり、友達の意見を受け入れたりしながら</u>、<u>長期間遊び</u>を続けた。 <u>箱の大きさ、重さ、硬さを試行錯誤し、イメージを膨らませながら作った</u>。 <u>ソファやベッドを工夫して作り上げた</u>。 <u>みんなで作り上げた物</u>に対して<u>愛着を持ち大切に</u>する姿があった。</p>	<p>自立心 協同性 社会生活とのかかわり 思考力の芽生え 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現 数量・図形、文字等への関心・感覚 自然との関わり・生命尊重</p>

⑥清水先生より まとめ

要録は、子ども達を引き継ぐ小学校の先生方が「子どもの事を知り、子どものこれからの育ちや教育を支えていく」ための大事な資料となる。こちらの意図していることが、正確に伝わるように記述しなければならない。

様々な視点から幅広くみるためにも、年長児の担任だけでなく、みんなで検討してみることも大切。

また、日頃から小学校の先生とも交流し、情報を直接伝えられる関係作りも必要。

⑦

受講者の感想

グループで話し合ったことで、色々な視点から見ることができた。

VTRの子どもの姿から、行動や 10 の姿を考えながら記述したことで、客観的に保育をみることができた。

要録を描くときに 10 の姿を意識するだけでなく、小学校の先生に伝わる書き方を考えて実践していきたい。

小学校の先生に、文章だけで伝えることの難しさがよく分かった。

小学校の先生との関わり方を考えていきたい。